

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL <https://www.akikwabokuen.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	8,283	4.1	143	—	186	262.2	21	△22.6
2025年3月期	7,957	7.6	△3	—	51	△66.4	28	△71.3

(注) 包括利益 2026年3月期 36百万円 (△11.7%) 2025年3月期 41百万円 (△54.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	5.23	—	1.0	2.7	1.7
2025年3月期	6.76	—	1.3	0.7	△0.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	6,973	2,181	31.2	522.11
2025年3月期	7,126	2,186	30.6	523.35

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,176百万円 2025年3月期 2,181百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	642	△381	△325	904
2025年3月期	725	△451	△4	968

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	41	147.9	1.9
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	41	191.2	1.9
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		49.2	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,114	1.0	△47	—	△9	—	△26	—	△6.44
通期	8,615	4.0	70	△50.8	130	△30.4	80	266.9	19.19

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年3月期	4,179,000株	2025年3月期	4,179,000株
2026年3月期	9,878株	2025年3月期	9,878株
2026年3月期	4,169,122株	2025年3月期	4,169,122株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	8,083	4.6	145	226.6	158	191.5	△20	—
2025年3月期	7,727	4.7	44	△63.8	54	△58.2	37	△57.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	△5.04	—
2025年3月期	9.07	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
2026年3月期	6,320	30.8	1,944	31.2	—	—	466.33	—
2025年3月期	6,386	31.2	1,991	31.2	—	—	477.78	—

(参考) 自己資本 2026年3月期 1,944百万円 2025年3月期 1,991百万円

2. 2027年3月期の個別業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
第2四半期 (累計)	4,024	1.0	△19	—	△27	—	△6.65	—
通期	8,435	4.4	90	△43.1	66	—	16.00	—

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年4月1日～2026年3月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクや調達リスクの高まりや、物価上昇の長期化による個人消費への影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。食品業界におきましては、原材料価格、物流費及び人件費の上昇が継続する中、実質賃金の伸び悩みを背景に消費者の節約志向は一層強まっており、引き続き厳しい事業環境で推移しました。

当社グループにつきましては、冷凍加工食品を中心に販売が好調に推移したことに加え、製品の価格改定効果も寄与し、売上高は増加しました。利益面につきましては、原材料や包材などの各種コストアップに加え、人件費の上昇の影響があったものの、販売拡大及び価格改定によるプラス要因により、経常利益は増益となりました。一方、直販事業及び中国子会社におきまして、事業環境の変化を踏まえて固定資産の回収可能価額を算定した結果、1億43百万円の減損損失を計上しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、82億83百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は1億43百万円（前年同期は3百万円の営業損失）、経常利益は1億86百万円（前年同期比262.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は21百万円（前年同期比22.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（生産卸売事業）

生産卸売事業につきましては、消費者の節約志向を背景に、相対的に割安感のある鶏肉への需要が高まる中、冷凍加工食品を中心に販売が引き続き好調に推移したことに加え、製品の価格改定の効果もあり、売上高は増加しました。利益面につきましては、原材料や包材などのコスト上昇や人件費の増加の影響を受けたものの、販売拡大及び価格改定効果に加え、冷凍食品工場及びミート工場における生産性向上が寄与し増益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、66億22百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は5億58百万円（前年同期比35.5%増）となりました。

（直販事業）

当社の食を中心とした安心・安全な食品を全国の個人の消費者に直接お届けする直販事業につきましては、価格改定の効果はあったものの、消費者の節約志向の高まりなどを背景に新規会員数の減少及び注文率低下により、売上高は減少しました。利益面につきましては、売上の減少及び人件費の上昇などの影響があったものの、価格改定の効果に加え、ピッキング業務などの改善による生産性向上が寄与し増益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、16億60百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は35百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末の総資産は、前年同期に比べ1億52百万円減少して69億73百万円となりました。これは主に有形固定資産の減少（2億47百万円）によるものです。

（負債）

負債につきましては、前年同期に比べ1億47百万円減少して47億91百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加（1億円）、社債の増加（1億円）及び長期借入金の減少（4億43百万円）によるものです。

（純資産）

純資産につきましては、前年同期に比べ5百万円減少して21億81百万円となりました。これは主に剰余金の配当による減少（41百万円）及び親会社株主に帰属する当期純利益による増加（21百万円）によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が47百万円（前連結会計年度は47百万円の純利益）となり、減価償却費（4億82百万円）、減損損失（1億43百万円）、仕入債務の増加（1億円）、社債の発行による収入（1億円）等から、有形固定資産の取得による支出（3億10百万円）、長期借入金の返済による支出（4億4百万円）等を控除した結果、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し、9億4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は6億42百万円（前連結会計年度は7億25百万円の獲得）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益（47百万円）、減価償却費（4億82百万円）、減損損失（1億43百万円）、仕入債務の増加（1億円）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億81百万円（前連結会計年度は4億51百万円の使用）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出（3億10百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億25百万円（前連結会計年度は4百万円の使用）となりました。

これは主として、社債の発行による収入（1億円）等から、長期借入金の返済による支出（4億4百万円）等を控除した結果によるものであります。

(4) 今後の見通し

年々深刻化する人手不足と円安傾向を大きな背景として、様々なコストが持続的に上昇しており、事業環境は今後さらに厳しいものになっていくことが想定されます。当社グループではその中でも持続的な成長に向けて、人財力、ブランド力、事業競争力をさらに高めるため、今年3年目となる中期計画の7つの基本戦略を柱に様々な課題に取り組んでまいります。

【中期経営計画 7つの基本戦略】

①人財戦略

持続的な成長に向けて一番の鍵となる人財力を高めるため、社員が安心してチャレンジできる環境づくり、人財マネジメントの強化、社員満足度の向上、人事部門の強化など、様々な課題に取り組んでまいります。

②ファン化戦略

秋川牧園の食をより多くの方に食べていただき、また食の安心・安全の大切さや秋川牧園の様々な取り組みの情報発信を強化することで、秋川牧園ファンを増やし、ブランド力をさらに高めてまいります。

③鶏肉・冷食事業の变革

日本の人口減少と人手不足の深刻化が進む中でも、鶏肉・冷食事業をさらに成長させるため、冷食の商品構成の成型品シフト、機械化及びIT化、商品開発の強化、販売・製造計画の精緻化など、様々な变革を進めてまいります。

④直販事業の強化

直販事業の成長力を高めていくために、ベースとなるブランド力の向上、会員様限定商品の開発、ユーザビリティの改善、顧客との関係づくりの高度化など、事業の独自性と競争力の強化に取り組んでまいります。

⑤中国鶏肉事業の基盤の確立

2024年3月より当社グループの連結子会社となった秋川牧園（常州）農業有限公司ですが、販路の拡大、鶏の無投薬飼育技術のさらなる安定化、加工における品質管理の強化などにより、事業基盤の確立に取り組んでまいります。

⑥サステナビリティ戦略

サステナビリティ推進委員会を設置し、脱炭素、脱プラ、地域連携の強化など、総合的な取り組みを全社的に進めます。また、野菜や穀類の生産を起点にした「土の分野」の事業化にチャレンジし、深刻化する中山間地の農業問題への貢献を目指します。

⑦食の信頼

秋川牧園の「食の信頼」を引き続き守っていくため、品質管理及び生産管理をさらに強化していきます。また、消費者からの期待に応えるためにも、商品力の強化や各現場での改善活動による生産性の向上にも継続的に取り組んでまいります。

（中期経営計画における数値目標）

売上高	2026年3月期（実績）	2027年3月期（中期目標）
生産卸売事業	66億円	70億円
直販事業	16億円	20億円
合計	82億円	90億円
連結経常利益率	2.3%	3.0%以上

次期の業績の見通しにつきましては、売上高は、製品の値上げ効果に加え、冷凍加工食品を中心とする販売拡大や、直販事業における会員様限定商品の投入、ECサイトのユーザビリティ改善、ブランドコンセプトを軸にしたコミュニケーションの充実などの事業競争力強化策の実行により、生産卸売事業、直販事業ともに増収を見込んでおります。一方、中期経営計画における目標につきましては、直販事業及び中国子会社における販売が計画を下回って推移していることから、全体としても目標を下回る見込みとなっております。

利益面につきましては、販売拡大や製品の値上げ、全社的に推進する生産性向上施策の効果を見込む一方で、人件費の上昇や飼料を中心とした原材料価格の高騰に加え、中東情勢の影響による包材等のコスト上昇など、先行き不透明な事業環境が続くことが想定されることから、経常利益は減益を見込んでおります。

予想数値は、売上高86億15百万円（当連結会計年度比4.0%増）、経常利益1億30百万円（当連結会計年度比30.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益80百万円（当連結会計年度比266.9%増）となっております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重視し、かつ、秋川牧園ブランドの確立と中長期的な成長に向けての積極的な投資と堅実な財務体質を両立することを基本方針としております。

当期（2026年3月期）につきましては、上記の方針を踏まえ、1株10円の配当とさせていただきます。また、次期（2027年3月期）につきましては、上記の方針を踏まえ、1株10円の配当を継続させていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	968,035	904,775
売掛金	929,885	886,785
商品及び製品	378,362	466,785
仕掛品	380,445	344,860
原材料及び貯蔵品	167,850	202,637
未収入金	37,614	111,632
その他	79,327	79,066
貸倒引当金	△7,541	△4,968
流動資産合計	2,933,981	2,991,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,941,204	4,010,060
減価償却累計額	△2,039,671	△2,171,548
建物及び構築物（純額）	1,901,532	1,838,511
機械装置及び運搬具	2,206,321	2,227,708
減価償却累計額	△1,698,524	△1,813,186
機械装置及び運搬具（純額）	507,796	414,521
使用権資産	191,185	175,692
減価償却累計額	△29,913	△41,155
使用権資産（純額）	161,271	134,536
土地	1,085,048	1,083,409
建設仮勘定	84,540	35,967
その他	420,585	428,003
減価償却累計額	△285,427	△306,871
その他（純額）	135,158	121,131
有形固定資産合計	3,875,348	3,628,079
無形固定資産		
のれん	1,520	—
その他	30,590	25,335
無形固定資産合計	32,110	25,335
投資その他の資産		
投資有価証券	118,784	140,606
長期貸付金	7,628	6,072
繰延税金資産	125,704	160,225
その他	32,565	23,583
貸倒引当金	—	△2,110
投資その他の資産合計	284,683	328,376
固定資産合計	4,192,142	3,981,791
資産合計	7,126,124	6,973,367

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	499,220	599,483
短期借入金	1,564,124	1,628,728
リース債務	5,572	9,183
未払法人税等	14,322	67,275
賞与引当金	48,448	53,010
その他	557,245	520,014
流動負債合計	2,688,933	2,877,695
固定負債		
長期借入金	1,713,918	1,270,190
社債	—	100,000
リース債務	138,515	133,484
繰延税金負債	9,019	8,343
退職給付に係る負債	347,838	357,320
役員退職慰労引当金	41,017	44,497
固定負債合計	2,250,309	1,913,836
負債合計	4,939,243	4,791,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	861,486	841,599
自己株式	△5,881	△5,881
株主資本合計	2,123,196	2,103,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,296	65,266
為替換算調整勘定	8,399	8,184
その他の包括利益累計額合計	58,695	73,450
非支配株主持分	4,988	5,076
純資産合計	2,186,880	2,181,836
負債純資産合計	7,126,124	6,973,367

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
売上高	7,957,457	8,283,360
売上原価	6,049,367	6,185,863
売上総利益	1,908,089	2,097,496
販売費及び一般管理費	1,911,287	1,954,449
営業利益又は営業損失（△）	△3,198	143,047
営業外収益		
受取利息	1,140	1,841
受取配当金	1,998	2,527
受取保険金	790	1,097
補填金収入	15,158	—
補助金収入	49,796	59,628
為替差益	6,195	2,191
その他	10,403	11,128
営業外収益合計	85,483	78,415
営業外費用		
支払利息	29,019	31,666
社債発行費	—	1,809
その他	1,681	1,156
営業外費用合計	30,701	34,632
経常利益	51,583	186,829
特別利益		
固定資産売却益	292	5,528
補助金収入	269	2,548
投資有価証券売却益	8,026	—
特別利益合計	8,587	8,077
特別損失		
固定資産売却損	6,537	1,104
固定資産除却損	5,691	513
減損損失	548	143,382
固定資産圧縮損	269	2,548
特別損失合計	13,046	147,548
税金等調整前当期純利益	47,125	47,358
法人税、住民税及び事業税	28,638	67,515
法人税等調整額	△10,441	△42,048
法人税等合計	18,196	25,467
当期純利益	28,928	21,891
非支配株主に帰属する当期純利益	743	87
親会社株主に帰属する当期純利益	28,185	21,803

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
当期純利益	28,928	21,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,283	14,969
為替換算調整勘定	13,847	△214
その他の包括利益合計	12,564	14,755
包括利益	41,492	36,646
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	40,749	36,559
非支配株主に係る包括利益	743	87

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	714,150	553,441	874,992	△5,881	2,136,702	51,579	△5,447	46,131	4,245	2,187,079
当期変動額										
剰余金の配当			△41,691		△41,691					△41,691
親会社株主に帰属する当期純利益			28,185		28,185					28,185
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△1,283	13,847	12,564	743	13,307
当期変動額合計	—	—	△13,505	—	△13,505	△1,283	13,847	12,564	743	△198
当期末残高	714,150	553,441	861,486	△5,881	2,123,196	50,296	8,399	58,695	4,988	2,186,880

当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	714,150	553,441	861,486	△5,881	2,123,196	50,296	8,399	58,695	4,988	2,186,880
当期変動額										
剰余金の配当			△41,691		△41,691					△41,691
親会社株主に帰属する当期純利益			21,803		21,803					21,803
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						14,969	△214	14,755	87	14,842
当期変動額合計	—	—	△19,887	—	△19,887	14,969	△214	14,755	87	△5,044
当期末残高	714,150	553,441	841,599	△5,881	2,103,309	65,266	8,184	73,450	5,076	2,181,836

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	47,125	47,358
減価償却費	488,342	482,863
減損損失	548	143,382
のれん償却額	3,648	1,520
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,411	△412
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,952	4,561
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△20,629	3,480
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27,371	9,481
受取利息及び受取配当金	△3,138	△4,368
支払利息	29,019	31,666
固定資産売却損益 (△は益)	6,244	△4,424
固定資産除却損	5,691	513
固定資産圧縮損	269	2,548
補助金収入	△269	△2,548
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,070	42,981
棚卸資産の増減額 (△は増加)	165,718	△84,923
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,026	—
未収入金の増減額 (△は増加)	△19,227	△74,018
仕入債務の増減額 (△は減少)	42,780	100,399
その他	31,475	△17,932
小計	801,239	682,128
利息及び配当金の受取額	3,138	4,368
利息の支払額	△29,814	△32,021
補助金の受取額	269	2,548
法人税等の還付額	—	6,224
法人税等の支払額	△49,760	△20,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	725,072	642,851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△458,427	△310,617
有形固定資産の売却による収入	7,223	10,626
有形固定資産の除却による支出	△5,589	△189
投資有価証券の取得による支出	△18	—
投資有価証券の売却による収入	18,296	—
貸付けによる支出	△12,410	△4,710
貸付金の回収による収入	3,329	5,754
ソフトウェアの取得による支出	△5,575	△79,320
その他	2,058	△2,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△451,110	△381,395
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	239,201	25,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△585,990	△404,124
社債の発行による収入	—	100,000
配当金の支払額	△41,473	△41,478
リース債務の返済による支出	△16,061	△5,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,323	△325,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,041	953
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	271,679	△63,260
現金及び現金同等物の期首残高	696,356	968,035
現金及び現金同等物の期末残高	968,035	904,775

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「生産卸売事業」と「直販事業」の2つを報告セグメントとしております。

「生産卸売事業」は、主に産直型の生活協同組合や宅配会社向けに、鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵および牛乳等の生産・販売をしております。「直販事業」は、当社の食品を中心とした食品と生活雑貨を会員向けに販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は各セグメントにおける製造原価の状況を勘案し、双方協議に基づいて取引を行っております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	6,265,504	1,691,952	7,957,457
セグメント間の内部売上高 又は振替高	465,478	8,324	473,802
計	6,730,983	1,700,276	8,431,259
セグメント利益	412,092	29,854	441,947
セグメント資産	5,225,199	812,426	6,037,626
その他の項目			
減価償却費	412,090	52,903	464,993
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	423,061	10,571	433,632

当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	6,622,508	1,660,852	8,283,360
セグメント間の内部売上高 又は振替高	479,643	10,991	490,635
計	7,102,152	1,671,843	8,773,995
セグメント利益	558,220	35,221	593,442
セグメント資産	5,171,855	706,604	5,878,460
その他の項目			
減価償却費	407,778	49,313	457,092
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	262,424	85,848	348,272

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,431,259	8,773,995
セグメント間取引消去	△473,802	△490,635
連結財務諸表の売上高	7,957,457	8,283,360

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	441,947	593,442
のれんの償却額	△3,648	△1,520
全社費用 (注)	△441,496	△448,874
連結財務諸表の営業利益又は営業損失 (△)	△3,198	143,047

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,037,626	5,878,460
全社資産(注)	1,088,498	1,094,906
連結財務諸表の資産合計	7,126,124	6,973,367

(注) 全社資産は、主に当社グループにおける余資運用資金(現金及び預金他)、長期投資資金(投資有価証券他)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	464,993	457,092	23,348	25,770	488,342	482,863
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	433,632	348,272	61,718	8,296	495,351	356,569

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに属さない本社の構築物及び工具、器具及び備品等の設備投資額であります。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	523.35円	522.11円
1株当たり当期純利益	6.76円	5.23円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	28,185	21,803
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	28,185	21,803
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,169	4,169

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。